

AstraZeneca PLC

第4四半期および2001年度年間業績

1株当たり利益は、11%増

アストラゼネカの転換の原動力となる強力なポートフォリオ

ファイナンシャルハイライト (例外的損益項目控除前)

グループ (継続事業*)	第4四半期	第4四半期	恒常為替	通年	通年	恒常為替
	2001	2000*	%	2001	2000*	%
	\$m	\$m		\$m	\$m	
売上高	4,440	4,144	+8	16,480	15,804	+8
営業利益	1,090	971	+12	4,156	3,984	+6
税引前利益	1,102	1,034	+12	4,269	4,110	+7
1株当たり利益 グループ	\$0.47	\$0.42	+18	\$1.77	\$1.64	+11
グループ (法定会計 Statutory FRS3)	\$0.43	\$0.19		\$1.69	\$1.44	

* 前期から農薬事業を除く。法定会計はFRS3 EPS例外。伸び率は恒常為替レート(CER)

- Nexium™ の年間売上は5億8,000万ドルに到達。米国のPPI市場で12月における新規処方シェア16.3%を獲得。
- GI (消化器) 以外では、年間売上は12%増で、第4四半期売上では16%増。呼吸器、オンコロジー、CNS (中枢神経系) 製品の売上が力強く伸長。
- Symbicort™ は、欧州諸国市場で次々と上市され、急速に市場に浸透。第4四半期には売上が4,900万ドルに到達。
- Casodex™ の早期前立腺がん治療の効能追加申請を12月20日にFDA (米国食品医薬品局) に提出。
- 前治療で効果が認められなかった進行非小細胞肺癌患者の単独療法の適応に関するIressa™ の臨床データパッケージを12月28日にFDAに提出。
- Arimidex™ の早期乳がんの補助療法における良好な、試験結果を12月に発表。FDAは、この適応の効能追加申請の優先承認審査を決定。
- 取締役会は株の買い戻しプログラムに20億ドル追加。

トム・マキロップCEは、研究開発および営業マーケティング強化への投資により、アストラゼネカは、有望なパイプラインの最大限の価値を実現するでしょう。既存成長製品、Nexium™ とSymbicort™ の最近の上市による売上の上昇ならびに、本年予定されているFaslodex™、Iressa™、Crestor™ の上市が今後2年間のポートフォリオの転換の原動力となるでしょう」と述べました。

London, 31 January 2002

Media Enquiries:	Steve Brown/Emily Denney (London)	(020) 7304 5033/5034
	Staffan Ternby (Södertälje)	(8) 553 26107
	Rachel Bloom (Wilmington)	(302) 886 7858
Analyst/Investor Enquiries:	Mina Blair-Robinson (London)	(020) 7304 5084
	Staffan Ternby (Södertälje)	(8) 553 26107
	Ed Seage (Wilmington)	(302) 886 4065
	Jörgen Winroth (Wayne)	(609) 896 4148

ビジネスハイライト 伸び率は恒常為替レー (CER)

年間の売上高は8%増、営業利益は6%増でした。米ドル高の影響で、売上高で4%、営業利益で2%のマイナス影響を受けました。1株当たり利益 (例外的損益項目控除前)は11%増の\$1.77でした。取締役会は、2002年8月に支払いの第2回目の中間配当\$0.47ドル (33.2pence、SEK5.01)を推薦しました。

第4四半期の売上高は8%増、営業利益は12%増でした。為替の変動のため、売上高で1%のマイナス影響となりましたが、営業利益には影響ありませんでした。1株当たり利益 (例外的損益項目控除前)は18%増の\$0.47でした。

GI フランチャイズの年間売上高は2%増でした。米国を除く Losec™ の売上高は4%増でした。米国では、Prilosec™ の全体処方低くなる傾向があり (6%減)、Prilosec™ の流通在庫の縮小により売上は、年間で13%減でした。Nexium™ の売上は引き続き好調で、年間売上は5億8,000万ドルに達し、そのうち米国における年間売上は4億5,600万ドルでした。Nexium™ の処方箋枚数の総数は、2001年に米国だけで400万枚を超えました。米国外でも第4四半期の売上は4,700万ドルと好調で、年間では1億2,400万ドルに達しました。

GI以外の年間売上は、12%増でした。呼吸器(17%増)の成長は、米国でのPulmicort™ Respulesの売上良好が続いていること、Symbicort™ の欧州市場への上市成功により推進されています。オンコロジーの年間売上は16%増です。Seroquel (67%増)とZomig(20%増)により、CNSは、48%増となりました。

第4四半期の進展としては、12月20日にCasodex™ の早期前立腺がん治療の追加申請をFDAに提出し、続いて28日に非小細胞肺癌治療のIressa™ の前治療で効果が認められなかった進行非小細胞肺癌患者の治療に関する臨床データパッケージを提出しました。12月には、Arimidex™ が、閉経後の早期乳がん患者の術後補助療法において、タモキシフェンと比較して有意に高い効果を示すとともに忍容性においても重要なベネフィットを示す新データも発表しました。2002年第1四半期に米国と欧州で、この新適応の申請が行われる予定で、FDAは申請の優先承認審査を決定しました。

今後の見通し 伸び率は恒常為替レー (CER)

研究開発および営業マーケティング強化への投資により、アストラゼネカは、有望なパイプラインの最大限の価値を実現するでしょう。

今後2年間に、当社の転換戦略を継続的に実施することで、以下の3製品群の売上の増加により、後発品競争で予想される売上損失を相殺することができると考えます。その製品群とは、確立された成長製品群、最近上市した製品群、すなわちNexium™ およびSymbicort™ および今後上市予定の製品群、すなわち今年前半に上市予定のFaslodex™、今年後半に上市予定のIressa™、Crestor™、2003年に上市予定のExanta™ です。

売上と利益については、短期的には、承認や上市のタイミング、いくつかの成熟した製品に対する後発品競争のタイミングにも、明らかに左右されると予想されます。これほど多くの変わりうる要素をもって予測することはチャレンジングであり、幅広い結果につながる可能性があります。当社は、Prilosec™ の知的所有権が強固であると信じていますが、早ければ第2四半期にもオメプラゾールの後発品が米国市場に参入してくる可能性を除外することはできません。この可能性およびfluoxetineに匹敵する売上低下を前提としても、試算モデルでは、2002年の売上は全体的に横ばいとなることが示唆されています。売上が横ばいであれば、収益は、現在の市場の期待のほぼ中央で、1株当たり\$1.51から\$1.66のあいだにおさまる程度になると予測されています。

ポートフォリオの転換の完了とともに、アストラゼネカは、医薬品業界における一流の財務増強を達成できるはずで、売上は上昇し、収益は増大する時期に入ります。

注意: : 当社の利益やビジネスの見通しへの期待に関する上記の予測的な記述はリスクや不確実要素をともなっており、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。たとえば、米国におけるオメプラゾールの後発品の発売時期、新製品の承認取得ならびに上市の成否（とくに、Nexium™ と Crestor™）、既存製品の継続的成長、コストや経費の増加、グループの現金収支に対する実質的な利息収入の額、為替レートの変動、税率の更なる改善、というようなリスクや不確実要素です。これらやその他のリスクや不確実要素については、2000年アニュアルレポート Form 20-Fを含む証券取委員会への有価証券報告書をご覧ください。

売上

伸び率は恒常為替レート(CER)

消化器

	第4四半期		CER %	通年		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Losec™ /Prilosec™ (日本での製品名はオメプラール)	1,397	1,728	-19	5,684	6,260	-7
Nexium™	285	13	n/m	580	17	n/m
Total	1,696	1,752	-3	6,308	6,322	+2

第4四半期のNexium™ の売上は、2億8,500万ドルで、このうち米国での売上は2億3,800万ドルでした。米国PPI市場の新規処方量でNexium™ は、第4四半期でさらに3ポイント増加し、12月単月では16.3%でした。米国での処方量は、2001年3月の上市以来、400万枚を超えました。これにより、2000年と比較して、アストラゼネカのPPIフランチャイズ (Prilosec™ を含む) における処方量は全体で、200万枚以上の増加となりました。

米国以外でのNexium™ の売上は、通年で1億2,400万ドルに達しました。本製品は今や、38カ国で上市されており、2002年にはさらにフランス、イタリア、ベルギーを含む49カ国で上市が予定されています。米国を含む主な既発売市場全てにおけるPPIセグメントでのNexium™ の売上高のシェアは、11月に10%になり、パントプラゾールおよびラベプラゾールを抜き、第3位のPPIになりました。

米国以外の市場におけるLosec™ の売上は、通年で4%増でした。特にフランス (17%増) およびイタリア (45%増) が好業績でした。両国は共に、Nexium™ が上市されていない欧州の2大市場です。日本においては、長期維持療法の適応および10mg錠の上市により、通年で85%の売上増でした。

処方量全体の減少は6%にとどまりましたが、米国におけるPrilosec™ の売上は、通年で13%減でした。この相違は、卸が薬価上昇を見込んで在庫を増加した2000年第4四半期と比較して、2001年末の在庫減少によるところが大きいと考えられます。

ジェネリック企業4社に対するPrilosec™ の特許侵害の裁判は、ニューヨークの米地方裁判所で審理が継続されます。

Entocort™ EC が、軽度から中等度の活動性クローン病の適応で、11月19日に米国で上市されました。

循環器

	第4四半期		CER %	通年		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Zestril™ (同ゼストリル)	265	228	+15	1,097	1,188	-6
Atacand™	125	97	+27	414	293	+46
Seloken™ (同セロケン) / Toprol-XL™	168	172	-3	722	577	+28
Plendil™ (同スプレンジール)	139	127	+10	471	480	+2
Total	916	842	+9	3,537	3,477	+6

米国におけるZestril™ の基本的な処方需要 (5%増)は、2001年を通して堅調でした。卸の出荷時期のばらつきは、業績ベースの契約に基づくより高額なリベートと併せて、通年で世界の売上が6%減となることの原因となりました。

Seloken™ の売上の伸びは、米国におけるToprol-XL™ の好業績が続いたことがけん引となりました。Toprol-XL™ の処方量は、昨年早期に上市されたうっ血性心不全の新適応症により、32%増加しました。2001年を通じて売上が処方需要をはるかに上回っていたので、第4四半期の対前年比の不調は、米国での通年の売上 (47% 増をより処方傾向に近づける結果となりました。

Atacand™ は主な市場で、良好な業績が続いています。米国以外の売上は58%増でした。米国では、処方量全体では47%増と大幅増でしたが、通年の売上では29%増と、それを下回りました。

呼吸器

	第4四半期		CER %	通年		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Pulmicort™ (同パルミコートタービュヘイラー)	205	193	+4	775	705	+14
Accolate™ (同アコレート)	31	21	+48	146	152	-2
Rhinocort™	75	56	+34	269	221	+25
Oxis™	33	32	-	127	116	+15
Symbicort™	49	-	n/m	83	-	n/m
Total	433	348	+23	1,556	1,372	+17

Pulmicort™ Respules™ の好業績の結果、Pulmicort™ 全体の売上は米国市場では80%増となり、米国以外での4%減を相殺し、それを上回るものでした。

・Rhinocort™ Aqua は、米国における鼻炎市場での水溶性の経鼻ステロイドセグメントにおいて、1年前の6.8%から12月には11.6%とシェアを伸ばしました。これが世界のRhinocort™ の売上増の原動力です。

Symbicort™ は今や欧州の主要市場で上市されており、合計23カ国となりました。上市後数週間のうちにこれらの市場の多くで、市場浸透が急速に進みました。さらなる成長への期待感は、2002年の第1四半期にEUで、COPD (慢性閉塞性肺疾患)の申請が行われることにより高まるでしょう。

オンコロジー

	第4四半期		CER %	通年		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Casodex™ (同カソデックス)	176	119	+50	569	433	+37
Arimidex™ (同アリミデックス)	52	39	+33	191	156	+27
Nolvadex™ (同ノルバデックス)	184	171	+9	630	576	+12
Zoladex™ (同ゾラデックス)	209	181	+17	728	734	+5

Total	627	518	+23	2,146	1,929	+16
-------	-----	-----	-----	-------	-------	-----

前立腺がん治療薬Casodex™ は、抗アンドロゲン剤で世界のリーディングブランドです。全ての主要市場で好調に売上を伸ばしました。通年での売上は、米国で27%増、欧州で43%増、日本では56%増でした。現在までに11市場で、早期前立腺がん治療を適応とするCasodex™ 150 mg 錠が承認されています。この重要な新適応追加は、12月20日にFDAへ申請されました。

乳がん治療薬であるArimidex™ は、アロマトーゼ阻害剤市場でリーディングブランドを維持しています。米国における通年の売上は15%増で、全処方量の動向とほぼ同様に推移しました。欧州における堅調な売上増(17%)、そして日本における2月の上市以来のすばらしい業績により、米国以外での売上は、34%増でした。

ATAC (Arimidex™, Tamoxifen, Alone or in Combination) のポジティブな結果が、12月に初めて発表されました。その結果から、閉経後早期乳がん患者の補助療法においてArimidex™ は、現在のゴールドスタンダードであるタモキシフェンと比較して、有意に高い効果を示すとともに忍容性においても重要なベネフィットがあることが示されました。FDAは、この新適応の追加申請に関して、「ファーストラック(優先審査)」を決定しました。欧州においても2002年第1四半期に申請が行われる予定です。

CNS (中枢神経系)

	Fourth Quarter		CER %	Full Year		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Seroquel™ (同セロクエル)	174	131	+34	700	424	+67
Zomig™ (同ゾーミッグ)	68	59	+15	277	237	+20
Total	248	190	+32	999	685	+48

Seroquel™ の第4四半期の売上(34%増)は米国において、好調な伸びを示した2000年に対しさらに増加しました。通年の米国での売上は51%増で、処方量の好調な伸び率と一致していました。現在、米国でのマーケットシェアは、新規処方量の16%となっています。日本で上市が成功し、欧州で堅調な成長が継続していることもあり、米国以外の売上は通年で1億3,200万ドルでした。

Zomig™ の売上は20%増でした。これは、日本における8月の上市、欧州での堅調な成長、特にZomig™ Rapimelt™の成長が、主な要因でした。Zomig™ の米国での新規処方シェアは、Zomig™ ZMT 2.5 mg の上市にいくぶん支えられ、15.6%に増加しました。Zomig™ の5mg錠は、米国市場で最も好調な製品で、また米国では、Zomig™ ZMT 5mg錠も10月に上市されました。

疼痛、感染症、他の製品

	第4四半期		CER %	通年		CER %
	2001	2000		2001	2000	
Merrem™	65	48	+37	227	170	+40
Diprivan™ (同ディプリバン)	136	114	+20	465	507	-4
Xylocaine™ (同キシロカイン)	57	63	-7	212	238	-5
Marcaïne™ (同マーカイン)	26	25	+4	87	92	-
Total	408	398	+8	1,511	1,623	-

Merrem™ は欧州で堅調に売上を伸ばし(通年で21%増)、また米国でもマーケットシェアを伸ばし続けてい

ることにより、第4四半期および通年で好調に売上を伸ばしました。

地域別売上高

	第4四半期		CER %	通年		CER %
	2001	2000		2001	2000	
米国	2,275	2,177	+5	8,700	8,153	+7
欧州	1,451	1,293	+8	5,270	5,166	+8
日本	260	244	+16	851	825	+16
その他	454	430	+18	1,659	1,660	+9

米国では、Nexium[®]の上市が非常に成功したことにより、売上が伸びました。上市後わずか9カ月で4億5,600万ドルの売上を達成しました。Prilosec[®]を除き、Seroquel[®]、Toprol-XL[®]およびPulmicort[®]が活況を呈し、通年での売上は28%増でした。

・フランスおよびイタリアにおける二桁の成長が、欧州の業績をけん引しました。Nexium[®] およびSymbicort[®]の上市が、Atacand[®]、Casodex[®] およびSeroquel[®] の堅調な伸びと併せて、欧州での製品ハイライトとして挙げられます。

・ Losec[®] (日本での製品名はオメプラール) およびCasodex[®] (同カソデックス) は、それぞれ85%増、56%増と好調に売上を伸ばし、そしてSeroquel[®] (同セロクエル、販売は藤沢薬品工業株式会社)、Arimidex[®] (同アリミデックス) およびZomig[®] (ゾーミグ) の上市により、日本では素晴らしい結果を達成できました。

営業利益

例外的損益項目控除前営業利益は、第4四半期で12%増の10億9,000万ドルで、通年では、6%増の41億5,600万ドルでした。

ユーロ対ドルが2000年の第4四半期と同様のレベルで推移したため、2001年の第4四半期の利益に通貨の影響はありませんでした。通年では、営業利益に2%のマイナス影響がありました。ユーロによるマイナス影響は、英ポンドおよびスウェーデンクローネ建によるコストを低下させるため、部分的に相殺されました。2002年は、現在のスポットレートが通年でこのまま推移すれば、売上に2-3%のマイナス影響があるものの、1株当たり利益に対する影響はこれより少ないと考えられます。

通年の営業利益率は25.2%で、2000年と変わりませんでした。売上原価率は、2000年とほぼ同様でした(流通費の再分類の影響を除く)。研究開発費は27億ドルで、売上の16.3%でした。メガブランドの上市をサポートするために研究開発費を増加しましたが、通貨の好影響で相殺され、特にスウェーデンにおける研究開発施設で顕著でした。一般管理費の厳しい抑制が続いていますが、新製品上市および米国の営業強化のため販売費は増加しました。その他営業収益は、第4四半期での6,400万ドルを含み、通年で3億6,800万ドルに増加しました(売上の2.2%)。

2001年には10億ドルのシナジー効果がありました。例外的費用としてさらに2億200万ドルを2001年に計上し、本プログラムの総計は13億8,800万ドルとなりました。合併から続く統合・シナジープログラムはほぼ完了し、アストラゼネカは、ビジネスを早くしかも効果的に機能させるべく、さらに重要な改善が必要なエリアに継続して取り組みます。

利息

通年のグループの受取利息および配当は純額で1億1,300万ドルでした。第4四半期の受取利息は純額1,200万ドルでしたが、これは1,400万ドルの為替差損と併せて、米国で利率がより低下したことが影響されています。2000年の第4四半期に比べて低下した理由として、2000年に4,600万ドルの為替差益があったことが挙げられます。

税金

例外的損益項目を除く、2000年の29%に対し、2001年の実効税率は27%でした。

キャッシュフロー

2001年の営業活動によるキャッシュフローは例外的損益項目控除前で、41億ドルで、受取利息によるキャッシュフローは、純額で2億ドルでした。このキャッシュフローは、例外的損益項目4億ドル、資本的支出および金融投資16億ドル、税金8億ドルおよび配当金12億ドルの支払いに充てられ、当座資産の変動前正味キャッシュフローは、3億ドルとなりました。株式発行および自社株買い戻しに10億ドルを支払い、正味キャッシュアウトフローは、7億ドルでした。

2001年12月31日現在、グループの正味キャッシュファンドは29億ドルでした。

株の買い戻しプログラム

第4四半期に、普通株式675万株(額面0.25ドル)が買い戻され消却されました。通年の総計は、2,350万株、買入金額は10億8,000万ドルとなりました。

買い戻し消却された自社株の総数は、1999年12月に本プログラムがスタートしてから今や、3,720万ドルで、累計16億1,600万ドルになりました。発行株式数は(2001年12月31日現在) 17億4,500万です。

株の買い戻しプログラムは当社のファイナンシャルマネジメントの一環として継続され、取締役会は本プログラムにさらに20億ドル追加し、2003年末までに終了することを決定しました。

これからのマイルストーンおよび主なイベント

第1四半期

Arimidex™ 補助療法申請

第1四半期

欧州でSymbicort™ COPD申請

4月25日

第1四半期および年次総会

トム・マキロップ

チーフ エグゼクティブ